

I 「話すこと [やり取り]」の目標

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

2 単元名 Unit3 How can we save animals? (NEW HORIZON English Course 3 東京書籍)

3 単元を通した「話すこと [やり取り]」における目標及び評価規準

(1) 目標

動物園に来場する外国人に、絶滅の危機に瀕している動物たちの情報や自分たちにできることを発信するために、聞いたり読んだりしたことについて考えたことや感じたこと、その理由などを、単元の基本文（不定詞、let、help 等）を用いて伝え合うことができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・単元の基本文（不定詞、let、help 等）の形、意味を理解している。 [知識] ・社会的な話題に関して、考えたことや感じたこと、その理由などを、単元の基本文（不定詞、let、help 等）を用いて、述べ合う技能を身に付けている。 [技能]	動物園に来場する外国人に、絶滅の危険に瀕している動物たちの情報や自分たちにできることを詳しく伝えるために、話題について友人やALTと述べ合ったり、マンダラシートにメモしたりすることで、考えたことや感じたことを、伝え合っている。	動物園に来場する外国人に、絶滅の危険に瀕している動物たちの情報や自分たちにできることを詳しく伝えるために、話題について友人やALTと述べ合ったり、マンダラシートにメモしたりすることで、考えたことや感じたことを、伝え合おうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

世界の絶滅危惧動物というテーマは、生徒自身が「動物保護」に対して思いをもって意見を述べやすく、持続可能な社会の創り手として、自分にできることについて意識を高めることのできる題材である。また、新しく学習する言語材料（It is .. (for + (人など)) + to + 動詞の原形、want + (人など) + to + 動詞の原形、let [help] + (人など) + 動詞の原形）を用いて、自分の主張や考えを表現する幅を広げることができる単元構成となっている。

(2) 生徒観

英語科学習に関する意識調査（*月*日 *人）

- ① 英語で自分の考えや事実を伝えること 得意*人 ふつう*人 不得意*人
- ② 相手の質問や求めているものを理解し、その問いに答えること 得意*人 ふつう*人 不得意*人
- ③ 聞いたり調べたりした情報を整理し、相手に伝えること 得意*人 ふつう*人 不得意*人

英語科学習に関するパフォーマンステスト結果（*月*日 *人）【知識・技能】

- A：学習した言語材料（単元の基本文）を理解し、誤りのない英文を話すことができる。…*人
- B：誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を用いて話すことができる。…*人
- C：「B」を満たしていない。…*人

上記の調査結果から、多くの生徒が伝えることに対して苦手意識をもっていることがわかつ

た。普段の授業における生徒の様子から、言語活動に取り組む際において、単語で返答し、なんとなく会話を成立させている場面が見られる。

(3) 指導観

東京動物園協会に研究レポートを作成して送るという課題を設定し、レポートを通して、動物園に来場する外国人に、絶滅の危機に瀕する動物の情報や自分たちにできることを発信するために、友人やALTとのやり取りを、単元を通して繰り返し行っていく。

生徒の実態から明らかになった課題を受けて、本単元では、生徒が少しでも話すことへの不安を取り除き、やり取りの力を伸ばすために次の手立てを講じる。

- ・研究レポートにする内容や自分の考えや気持ちを可視化するために、ICTを活用して①知り得た情報、②自分たちが伝えたいこと、を一枚の思考ツール（マンダラシート）にメモする。
- ・お互いに意見を述べやすくするために、インタビューマッピングを用いてやり取りを行う。
- ・単元の見通しをもち、何ができればよいかを理解するために、単元導入時に教員が作成したやり取りの動画やレポートを確認する。
- ・まとまりのある英文で自分の意見や考えを伝えやすくするための表現を、中間指導を通して確認する。
- ・自分自身のことを表現する帯活動を通して、単元の基本文に慣れ親しむ。
- ・英語を話すことへの不安を取り除くために、中間指導を通して疑問点や達成状況の確認・共有を行う。

5 単元の指導計画（7時間扱い）（●：学習改善につなげる評価場面、○：評定に用いる評価場面）

時間	学習内容・活動 (■：ねらい、丸数字：言語活動、※：評価方法)	知	思	態	備考
1	■ 本単元のめあてを理解し、自分の考えなどをまとめる。 ① 提示された動物（サイなど）について知っている情報を共有する。（動画視聴） ② 自分が興味をもって調べた世界の危険に瀕する動物の特徴などを、ペアワークで紹介し合う。 ③ マンダラシートのメモを活用し、やり取りをする。 ④ 教員が作成したやり取りの動画とレポートを確認する。 ※観察・マンダラシート		●	●	・単元で目指す生徒の姿（b基準）を伝える。 ・マンダラシートを活用し、伝えたい内容を整理できるようにする。 ・様々な動物が絶滅の危機に瀕していることに気付くよう発問する。
2 3	■ 世界の危険に瀕する動物の現状や問題点について知る。 ① 自分の考えを伝え合うやり取りの帯活動を行う。 ② 教科書から得た情報を用いて、マンダラシートに自分のアイデアを記入する。 ※観察・マンダラシート	●			・相手に伝えたい内容を踏まえて、話題や表現する内容を考えている姿を見取る。【マンダラシート】
4 本時	■ 相手に現状を伝えアクションを提案したり、自分の実践アイデアを伝えたりできるようにする。 ≪本時の流れ≫ (1) Warm up [7分] 動物や環境問題に関する“Opened & Closed Questions”を行う。 (2) Today's Topic [3分] 聞き手に「絶滅に瀕している動物のために○○してほしい」と伝えるためには、どのような構成や表現をすると相手に伝わりやすいだろうか。				・話しやすい雰囲気を作り(3)の活動に向けてやり取りの練習をする。

	(3) Question & Sharing① [10分] ・グループで自分たちが選んだ動物についてのやり取りをする。 ・友人とのやり取りをインタビューマッピングに記入する。 →合意できる部分とできない部分や、その理由など 【中間指導】 全体で課題を再確認するために、want 人 to do を活用して表現しているグループをモデルにする。 (4) brush up time [5分] 中間指導を通して、表現の幅を広げる。 (5) Interaction Time② [20分] 1 グループごとに危険に瀕する動物たちの情報やその動物のためにしてほしいことを ALT や JTE に伝える。 2 T1～T3の助言を踏まえ、修正しながら、やり取りを繰り返す。 3 【中間指導】 全体で課題を再確認するために、自分の実践していることを踏まえて話しているグループをモデルとする。 (6) Feedback [5分] ・「本時でできるようになったこと」「次時で取り組むこと」について振り返り、次時の研究レポート作成へつなげる。 ・ want 人 to do を使うと～してほしいと伝えやすくなる。 ・ 自分の実践を交えて話すと聞き手により説得力のある内容で依頼することができる。 ※観察・マンダラシート				・ ALT と JTE で本時の課題の気付きになるようなデモンストレーション (want 人 to do や実体験を踏まえた相手への依頼) を見せる。 ・ 生徒が理解をしているか質問を通して確認をする。 ・ 本時のゴールの姿をイメージして指導にあたる。 ・ モデルの良かった点について、生徒の気付きを聞き出す。
5	■第4時に得た情報を整理し、伝えたい内容をわかりやすくするための表現方法を理解する。 ① 相手や他の人にしてほしいことについてやり取りをする。 ※観察・マンダラシート	●			・ 友人や ALT とのやり取りで得た情報を踏まえて、内容・表現を修正し、適切に表現できるようにする。【ワークシート】
6	■これまでに学習したことを生かして、レポートを作成する。 ① やり取りで得た情報や、やり取りに用いた表現を活用しながら、東京動物園協会に向けた研究レポートを作成する。 ※観察・研究レポート・マンダラシート	●			・ 読み手に興味をもってもらえるよう、内容を考える支援を行う。
7	■人とかかわり社会とつながりながら「グローバル社会を創造する」思いを込めて、レポートを完成させる。 ① 東京動物園協会へ提出する研究レポートを読み合って、感想を伝え合う。		●	●	・ 単元の基本文(不定詞、let、help等)を用いて伝えられるよう助言する。【研究レポート】
動画 レポート	※パフォーマンステスト・研究レポート	○	○	○	

6 パフォーマンステストについて

(1) テストの内容

- ・ALT の先生に、絶滅の危機に瀕している動物たちの情報や、自分たちで考えたアクションのアイデアを知ってもらうために、やり取りをする。

(2) 採点の基準

条件 1 : 絶滅の危機に瀕する動物の情報を、相手に分かりやすく伝えている。
条件 2 : 絶滅の危機に瀕する動物を救うために自分にできることを伝え、他の人にも行動を呼びかけるなど、具体的な提案をしている。
条件 3 : 調べた情報や自身の経験を基に、ALT からの質問に適切に答えている。

観点別の採点基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	学習した言語材料のきまりを理解し、誤りのない語彙や表現を用いて話すことができる。	三つの条件を満たした上で、絶滅の危機に瀕する動物について、調べた情報の詳細を伝えながらやり取りしている。	三つの条件を満たした上で、絶滅の危機に瀕する動物について、調べた情報の詳細を伝えながらやり取りしようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を用いて話すことができる。	三つの条件を満たしている。	三つの条件を満たそうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

単元で目指す生徒の姿の例 ※動画で生徒に共有する。

Hi, I'm Peta. <u>Let me talk about Manatees. They live in warm rivers and seas in Jamaica. They are big and beautiful animal. They eat Sea grass and algae. Unfortunately, they have serious problems.</u> <u>Their population is only 13,000 in the world. They are on the RED LIST. …条件 1</u> The problem is that Manatees don't understand what danger is. They don't avoid people and boats. The Second problem is that people destroy their habitat to make docks for boats. They are losing their home. The Last problem is that people pollute the ocean. They sometimes throw away garbage like, plastic, dirty water and oil from fishing boats. (a 評価の例) <u>I don't want people to hurt Manatees. I'll recycle plastic and teach people that manatees and the environment have serious problems. …条件 2</u> It's important for us to take action. <u>A L T : Have you ever seen Manatees in the zoo?</u> <u>Peta :No, I haven't. …条件 3</u> But I want to see them some day. (a 評価の例)
--